

企画セッション ICTによる地域振興と産学官連携

連携施策・制度紹介

N I C Tの概要とそのアプローチ

令和2（2020）年8月



耐災害ICT研究センター

情報通信研究機構（NICT）の概要

ICT分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関

● 主な業務：（「国立研究開発法人情報通信研究機構法」より）

- ・ 情報通信(ICT)分野の研究開発
- ・ 電波を使った観測技術の研究開発
- ・ 民間、大学等が行う情報通信分野の研究開発の支援 等
- ・ 日本標準時の決定、標準電波の送信
- ・ サイバーセキュリティに関する演習

● 職員数： 1,195名 (非常勤職員を含む) (令和2 (2020) 年4月1日現在)

● 設立： 平成16 (2004) 年4月1日

● 中長期計画

第1期 平成16年4月～平成18年3月

第2期 平成18年4月～平成23年3月

第3期 平成23年4月～平成28年3月

第4期 平成28年4月～令和 3年3月



未来社会を開拓する 世界最先端のICT

データ利活用基盤分野

- ・音声翻訳・対話システム高度化技術
- ・脳情報通信技術
- ・社会地解析技術
- ・実空間情報分析技術

つく
創る

センシング基盤分野

- ・リモートセンシング技術
- ・宇宙環境計測技術
- ・時空標準技術
- ・電磁環境技術

み
観る

サイバーセキュリティ分野

- ・サイバーセキュリティ技術
- ・暗号技術
- ・セキュリティ検証プラットフォーム構築活用技術

まも
守る

フロンティア研究分野

ひら
拓く

- ・量子情報通信技術
- ・新規ICTデバイス技術
- ・フロンティアICT技術領域
- ・先端ICTデバイスラボ

統合ICT基盤分野

- ・革新的ネットワーク技術
- ・フォトニックネットワーク基盤技術
- ・光アクセス基盤技術
- ・ワイヤレスネットワーク基盤技術
- ・衛星通信技術

つな
繋ぐ

産学官連携による研究成果の
創出支援と社会実装に導く取組み

オープンイノベーション推進本部

- オープンイノベーション推進本部
- オープンイノベーション推進本部事務局
- ソーシャルイノベーションユニット
- 戦略的プログラムオフィス
- 総合テストベッド研究開発推進センター
- ナショナルサイバートレーニングセンター
- ナショナルサイバーオブザベーションセンター
- 知能科学融合研究開発推進センター
- 耐災害ICT研究センター
- 統合ビッグデータ研究センター
- テラヘルツ研究センター
- イノベーション推進部門
- グローバル推進部門
- デプロイメント推進部門

NICTと地域との連携には？
 NICTの研究が入る事で、研究が大きく進む可能性がある大学、企業、自治体等としっかりと連携をする必要がある。（課題は地域にある！NICTの技術を地域で役立てたい）→**身近なところに多くあるはず。。。。**

産学官連携の推進

- **委託研究・共同研究の推進**
 > 最近の委託課題例: ビッグデータ、光NW等
- **受託研究を活用した研究連携**
 > 政府戦略プロジェクトへの積極的参画
- **地方自治体との連携**

研究成果の展開

- **知財の活用促進**
- **戦略的な標準化活動**
 > 「標準化アクションプラン」の策定

グローバル連携の推進

- **国際共同研究の推進**
 > 米国、欧州、アジア 等
- **国際的な人材交流の促進**
 > 研究者招へい、国際研究集会支援

ICTビジネスの支援

- **情報通信ベンチャー支援**
 > 「起業家甲子園」「起業家万博」
- **民間助成等**
 > IoTテストベッド、地域データセンターの整備支援 等

本日のご紹介

研究公募に
応募したい

委託研究

NICTが行う研究と一体的な実施を行うことで効率化が図られる場合に研究開発を公募しています。公募情報をご覧ください

共同研究したい

共同研究

分担する研究に要する費用をそれぞれが負担します

NICTの施設・設備
を使いたい

研究施設等の外部利用制度

施設を有償或いは無償で利用できます

ご参考

技術を知りたい

NICT SEEDs

NICTの研究開発成果等を紹介しています

相談したい

技術相談

専門的知識を活かした技術相談を実施しています（有料）

知財を使いたい

技術移転

NICTが保有する特許やプログラムなどをご活用いただけます

研究を依頼したい

受託研究

NICTにとって有益と判断される場合は研究を受託する場合があります

他に連携は？

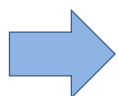
セキュリティを学びたい

CYDER、サイバーコロッセオ、SecHack365

支援を受けたい

起業家甲子園・起業家万博（ベンチャー支援）
海外研究者個別招へい制度、国際研究集会開催支援制度
情報バリアフリー支援制度

- 民間企業等の研究設備や研究者の研究開発能力の活用により、より一層効果的な研究開発を図るため、民間企業や大学等への委託研究を推進。



NICTの公募情報(新規委託研究の公募)

https://www.nict.go.jp/info/public_trust_info.html

- 令和2年度新規委託研究における主な公募事例

(地域関連の研究開発課題)

→ **データ連携・利活用による地域課題解決のための実証型研究開発 (第3回)**

地域の多様なデータを連携・利活用した課題解決方策の社会実装を促進するため、新たな情報通信技術の技術的課題の研究開発・実証実験を実施する。これにより、分野横断的・産業横断的な統合・融合による地域課題の解決の加速、さらに、研究開発・実証実験で得られたデータが分野や産業を超えて広く利活用される枠組みの構築等を行う。

- ・ 研究開発期間：令和2年度契約締結日～令和4年度
- ・ 研究開発予算：各年度、各案件総額10百万円（税込）を上限とする。
- ・ 採択件数：最大10件
- ・ 公募期間：令和2年2月7日～同年3月12日正午（必着）
- ・ 採択決定：令和2年5月26日、提案課題（10件）及び受託者決定を発表（抜粋を次ページ）

- 令和3年度委託研究の実施は、未定。

※ 令和2年度委託研究の公募については、令和元年12月25日に公募予定を公表。

令和2年度新規委託研究の受託者を決定(令和2年(2020年)5月26日)から抜粋

<https://www.nict.go.jp/info/topics/2020/05/26-1.html>

- JGNと5Gを用いた遠隔地手術データ連携とAI解析による地域間医療技術の高水準化のための研究開発 (公立ほこだて未来大学 (代表研究者)、東京女子医科大学)
- 被災地域における医療救護活動のデータ共有と組織間連携に関する研究開発 (スペースタイムエンジニアリング (代表研究者)、九州工業大学)
- 個人別熱中症リスク情報見える化システムの研究開発～埼玉県熊谷市における効果検証～ (凸版印刷 (代表研究者)、東京理科大学)
- 情報銀行による匿名化データサービスと地域持続化実証 (慶應義塾 (代表研究者)、フェリカポケットマーケティング、早稲田大学)
- AI・IoTを活用した北海道における次世代施設栽培の確立 (室蘭工業大学 (代表研究者)、エア・ウォーター)
- 人や様々なモノの接点を検知するイメージセンサネットワーク基盤の構築 (京都大学 (代表研究者)、エクサウィザーズ)
- 大規模位置データ連携による観光施策立案評価システムの研究開発 (九州大学 (代表研究者)、コロプラ、九州工業大学)
- バーチャル物見櫓(V-THUNDARBIRDS)～災害発生地域における緊急事態対応に必要な情報収集・共有システム～ (先端空間情報技術評価支援センター (代表研究者)、御殿場市役所、千葉大学)
- 山間過疎地を対象とした高齢者向け屋内外包括見守りシステムに関する研究開発 (名古屋工業大学 (代表研究者)、名古屋大学)
- 未来型住宅団地におけるサービス連携プラットフォーム (東洋大学 (代表研究者)、横須賀テレコムリサーチパーク)

2019年度新規委託研究(公募第二弾)の受託者を決定(令和元年(2019年)8月6日)から抜粋

<https://www.nict.go.jp/info/topics/2019/08/06-1.html>

- 中国中山間地域の農業振興に資する地産地消型スマートフードチェーン構築のためのクロノロジー(時系列)型情報共有技術の開発(農業・食品産業技術総合研究機構(代)、日本ユニシス株式会社)
- 山梨におけるビッグデータ利活用基盤構築とその有効性に関する実証実験(エリアポータル(代)、山梨大学、山梨県富士山科学研究所、一般社団法人山梨県情報通信業協会、公益財団法人山梨総合研究所、日本電気株式会社)
- 放牧を活用した乳製品高品質化による酪農産業の競争力強化(宇都宮大学(代)、栃木県酪農業協同組合、中央大学)
- 重症心身障害児の微細な反応を検知し、解析結果をお知らせするシステムの研究開発(学校法人四国大学)
- にぎわい創出と安心安全のための中部おもてなしプラットフォームの構築(名古屋大学(代)、NPO法人位置情報サービス研究機構)
- レンタカー走行データを活用した訪日外国人との共生エコシステムの研究開発(九州工業大学(代)、株式会社コロプラ)
- LPWAと3次元センシングを活用した病院・介護現場における負担の軽減(凸版印刷株式会社)
- エッジコンピューティング環境を利用した動物のリアルタイム自動行動分類システムの開発(北海道大学(代)、株式会社テクノフェイス)
- 構造適応型深層学習によるコンクリート構造物のひび割れ検出とドローンを活用したリアルタイム検出・可視化システムの開発(県立広島大学(代)、三井共同建設コンサルタント株式会社)
- スマートモビリティによるラストワンマイル達成のための混雑環境でもロバストな不可視地図のオープン化(宇都宮大学)

企業、大学、公的研究機関等との共同研究・受託研究や、研究者の派遣、受入等の研究者交流を推進します。

<共同研究>

国内外の企業、大学、公的研究機関等とNICTが共通の研究課題を設定し、分担・協力して研究を行う制度です。

なお、資金受入型共同研究制度では、NICTが分担する研究費用の一部について共同研究機関に負担いただくことにより技術の実用化を加速できます

<研究者交流>

国内外の企業、大学等から研究者を受け入れ、産学官の連携を推進しています。

また、大学院生等を研修員として受け入れ、研究者の卵を育てています。

<受託研究>

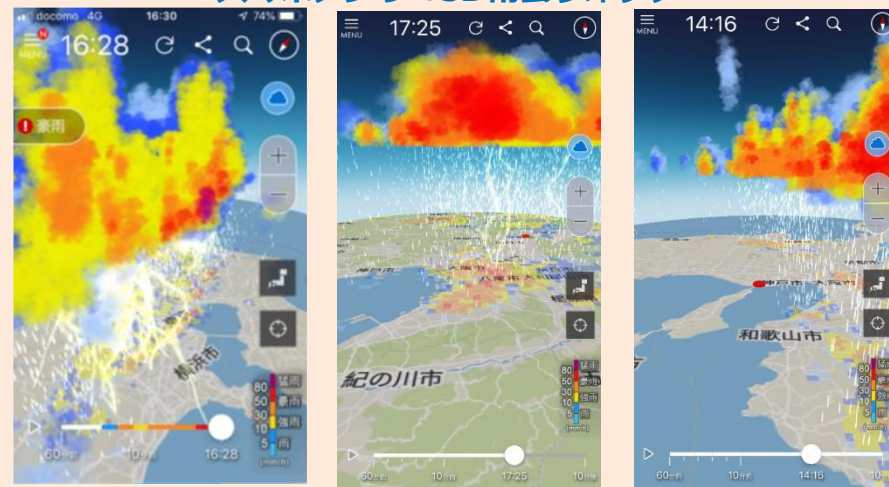
企業、大学、公的研究機関等から研究を受託する制度で、受託研究契約書を締結してNICTの研究者が研究を実施します。対象となる研究は、NICTの本来業務の研究に対して相乗効果が期待できるものです。受託した研究で発明等を行った場合など、産業財産権については委託元とNICTとの間で協議して決定します。

○共同研究の事例

フェーズドアレイ気象レーダの豪雨情報がスマホアプリに
～30秒ごとの3次元降雨分布を3Dアニメーションでリアルタイムに配信～

NICTは株式会社エムティーアイとの共同研究によりフェーズドアレイ気象レーダで観測される3次元データのスマホアプリの実証実験を実施しました。

スマホアプリ「3D雨雲ウォッチ



豪雨の危険性をいち早く通知。
30秒ごとの雨雲の様子を3Dアニメーションで表示。

共同研究で得られた知見を基に、さらに高精度の短時間降雨予測情報の提供を目指します。

NICTが所有する研究施設、研究設備及び研究機器（施設等）を、NICT以外の機関の利用にご提供します

問い合わせ窓口を一元化。NICT全体でどの施設等が、どのような利用形態で利用可能なのかが一覽で把握でき、かつ、利用に係る手続きを共通の手順で行えるようになりました。

外部利用の形態

- ・ **共同研究型：共同研究契約締結、原則無償**

研究開発が目的であれば、原則、誰でもご利用いただけます。

- ・ **研究連携型：約款方式、有償**

外部利用で得られた施設等の機能・性能の評価に資する実験データ等をNICTに無償でご提供いただくことを条件に、ご利用いただけます。

- ・ **成果活用・施設等供用型：約款方式、有償**

利用の目的が研究開発、社会実証又はNICTの研究成果の普及に関連することを条件に、ご利用いただけます。

外部利用可能な施設等（2020年4月現在）

- ・ **総合テストベッド 【共同研究型】**

- 超高速研究開発ネットワーク「JGN」
- 大規模エミュレーションテストベッド「StarBED」
- 大規模IoTサービステストベッド「JOSE」
- 広域SDNテストベッド「RISE」

- ・ **先端ICTデバイスラボ施設 【研究連携型、成果活用・施設等供用型】**

- ・ **人工衛星観測用鹿島35cm望遠鏡 【研究連携型、成果活用・施設等供用型】**

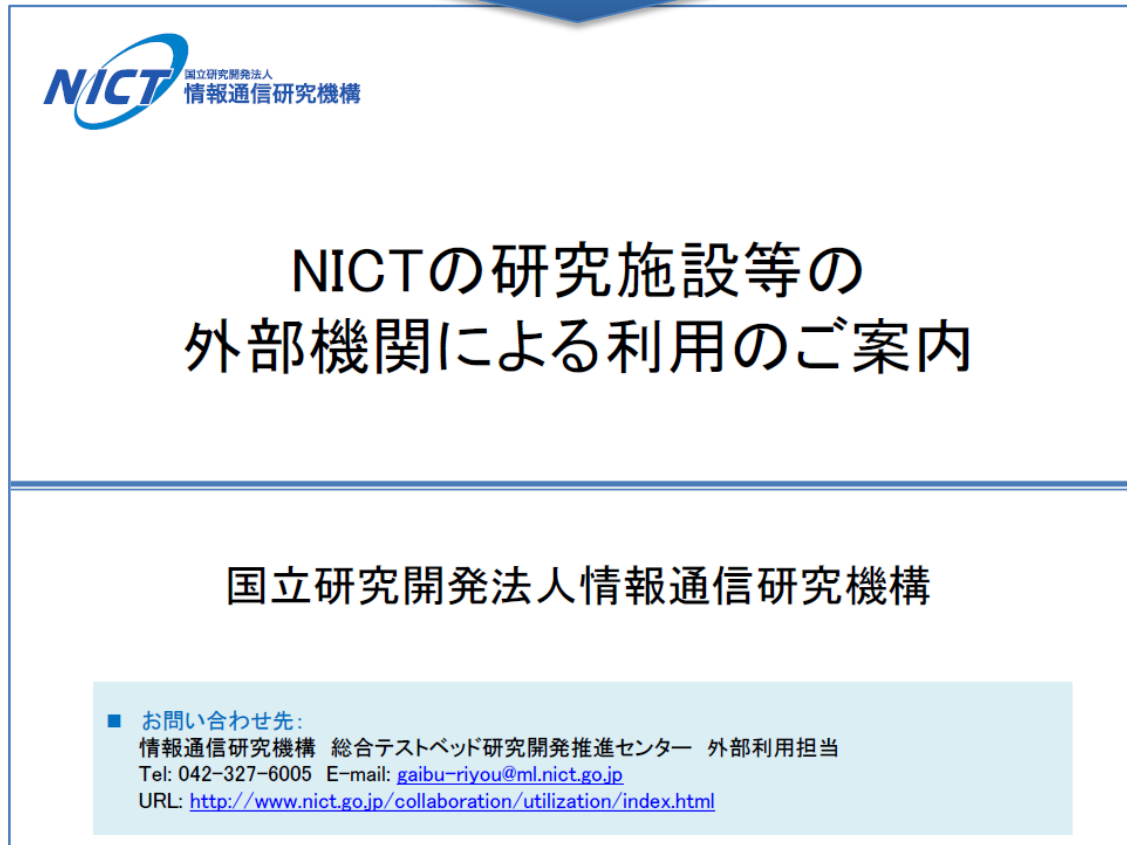

- ・ **けいはんな情報通信オープンラボ 【成果活用・施設等供用型】**

- ・ **RFIDワークベンチ 【研究連携型、成果活用・施設等供用型】**

お問い合わせ先は
 オープンイノベーション推進本部
 外部利用担当
gaibu-riyou@ml.nict.go.jp
<https://www.nict.go.jp/collaboration/utilization/index.html>

利用のご案内

➔ <https://www.nict.go.jp/collaboration/utilization/OpenFacilityInfo.pdf>

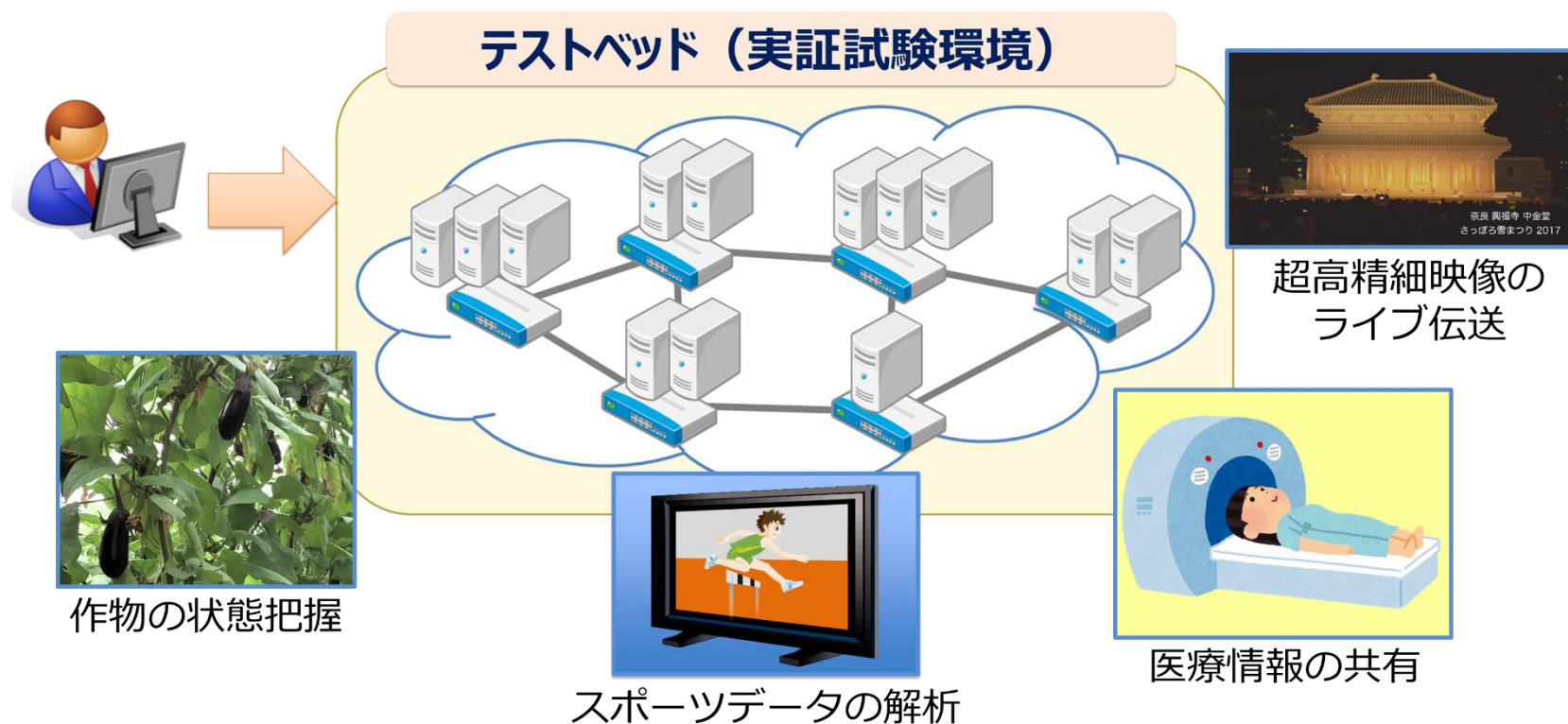


The thumbnail shows the cover of the PDF document. It features the NICT logo in the top left corner, followed by the text '国立研究開発法人 情報通信研究機構'. The main title is 'NICTの研究施設等の 外部機関による利用のご案内'. Below this, it says '国立研究開発法人情報通信研究機構'. At the bottom, there is a light blue box containing contact information: '■ お問い合わせ先: 情報通信研究機構 総合テストベッド研究開発推進センター 外部利用担当', 'Tel: 042-327-6005 E-mail: gaibu-riyou@ml.nict.go.jp', and 'URL: <http://www.nict.go.jp/collaboration/utilization/index.html>'.

ご利用可能な主な施設（テストベッド）

- システム開発などで用いられる、実証試験環境の総称
- 通信ネットワークやサーバー群などから構成
- 実環境に近い状況を再現し、様々なテストが可能
- NICT では1999年よりテストベッドを提供

多様な研究開発プロジェクトが個別にテスト環境を構築するのは、高コスト・非効率。
NICTでテストベッドを構築し、ユーザ間で共有することで効率化を図る。



様々な研究シーンで活用されるNICTテストベッド



〇〇大学

遠隔地の大学と蓄積したデータを共有して研究を実施したい。



□□会社

センサーを設置したが継続的に解析・分析といった研究を行う環境が必要。



自治体関係

さまざまなデータを活用して地域に関する研究を実施したい。

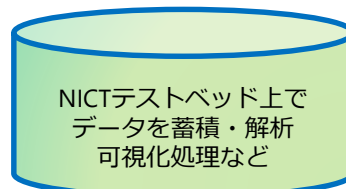


NICTの総合テストベッドでは**仮想マシン・ストレージ**を使つての研究（**データ蓄積・解析・エミュレーション**等々）が可能。**ネットワークもL2**をベースに設計されており、**セキュアな環境**で安心してご利用可能。

実際の活用例



地域の小学校に設置したセンサー（気象、太陽光発電量等）で収集したIoTデータ。



作成した気象関連コンテンツを小学校の授業実際に活用。地域コンテンツやサービスへの展開も目指しており、研究が地域・社会に還元。



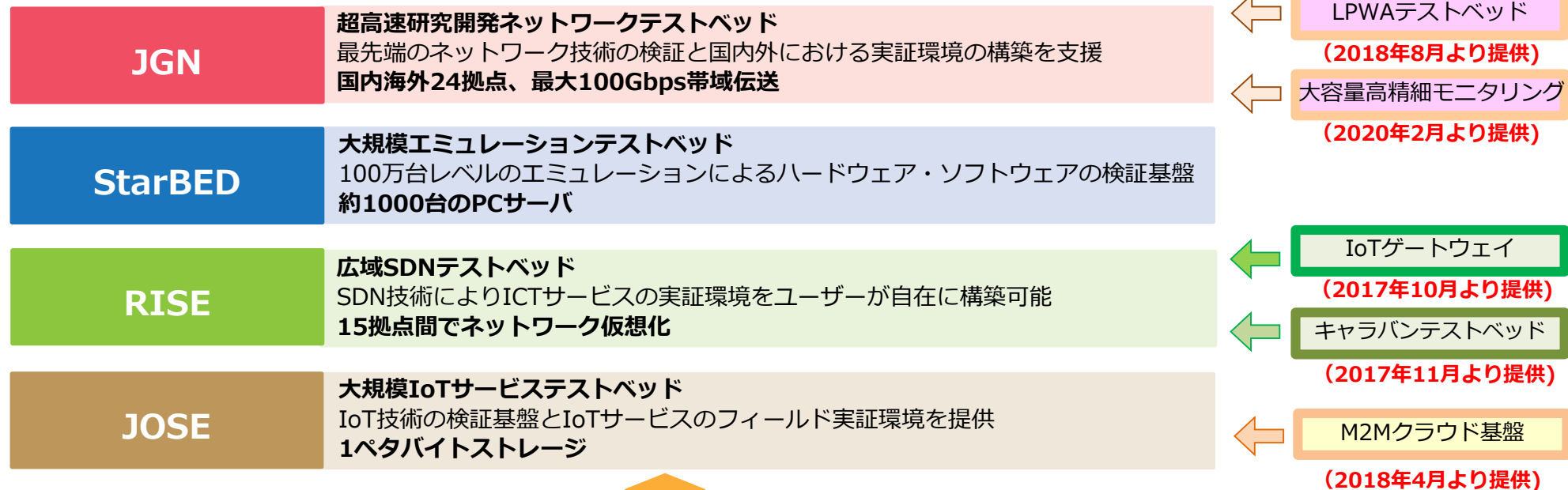
災害・医療の現場で収集したデータ・医療に関するさまざまなデータ



解析された結果等を元の実環境で救急・救助活動の効率化の検証を行い、従来の手法の1/3の時間に短縮する事に成功。

～技術実証と社会実証の一体的な推進～

- 技術実証と社会実証の一体的推進の場として「NICT総合テストベッド」を利用者に提供
- 「NICT総合テストベッド」において、利用者は、**超高速研究開発ネットワークテストベッド (JGN)**、**広域SDNテストベッド (RISE)**、**大規模エミュレーションテストベッド (StarBED)**、**大規模IoTサービステストベッド (JOSE)** 等を自由に組み合わせ、独自に環境等を構築して利用可能
- 海外の研究機関とのネットワーク接続等を提供し、国際共同研究・連携や国際展開を推進
- その他、キャラバンテストベッドやLPWAテストベッド等との連携運用や統合化を推進



↑

更なる統合化

- AI データテストベッド
- 他の機構内テストベッドや設備

海外拠点

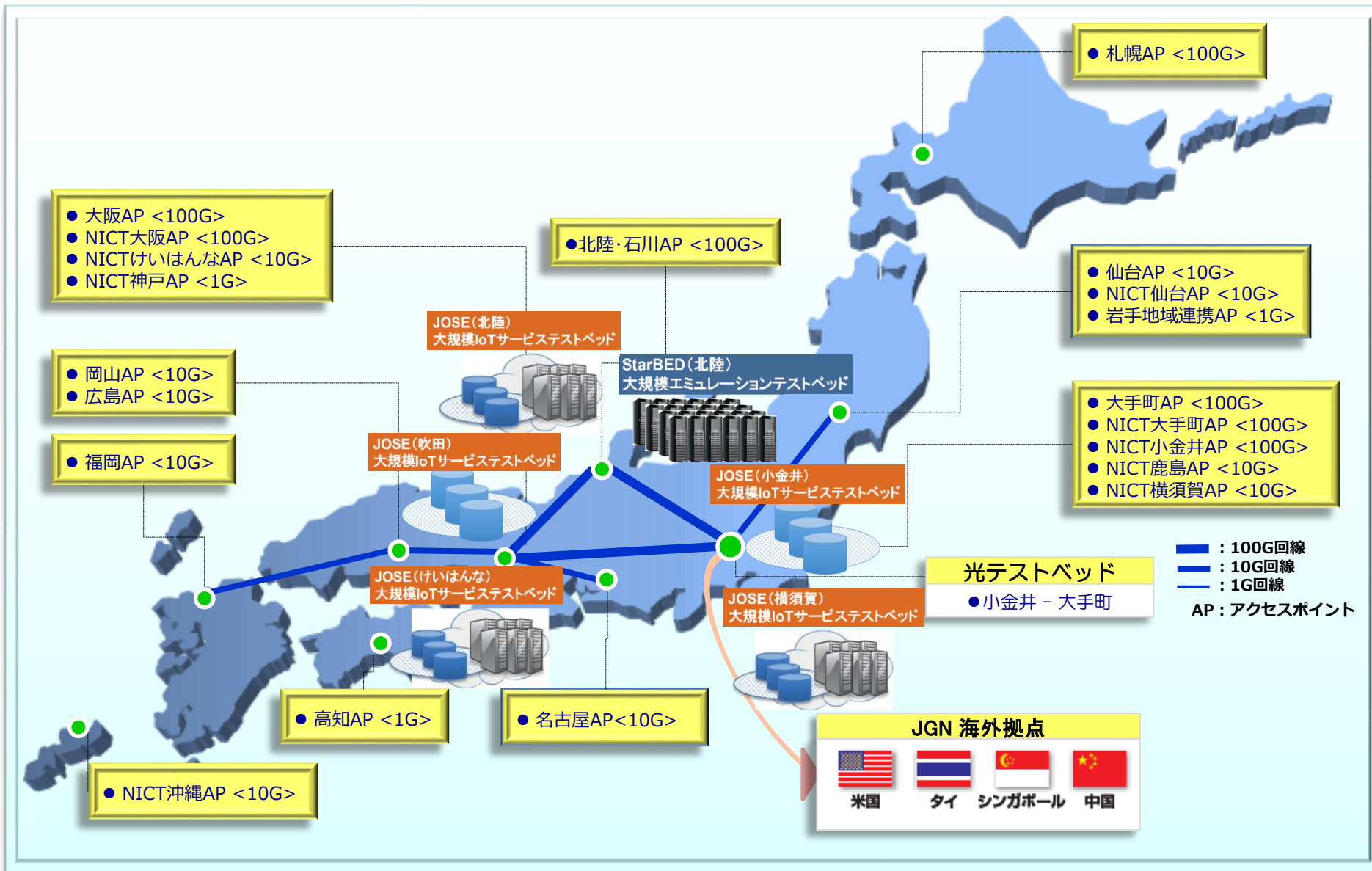
米国

タイ

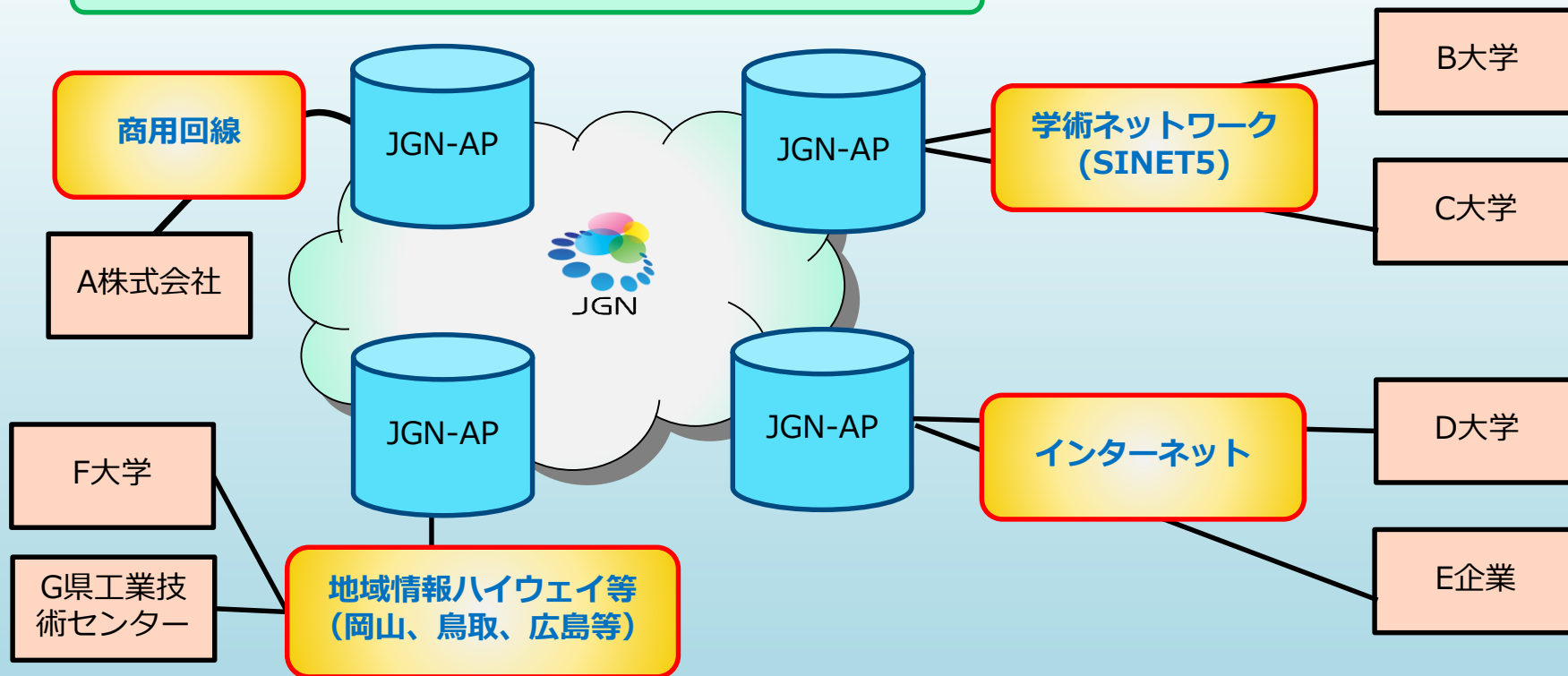
シンガポール

中国

NICT総合テストベッドの構成



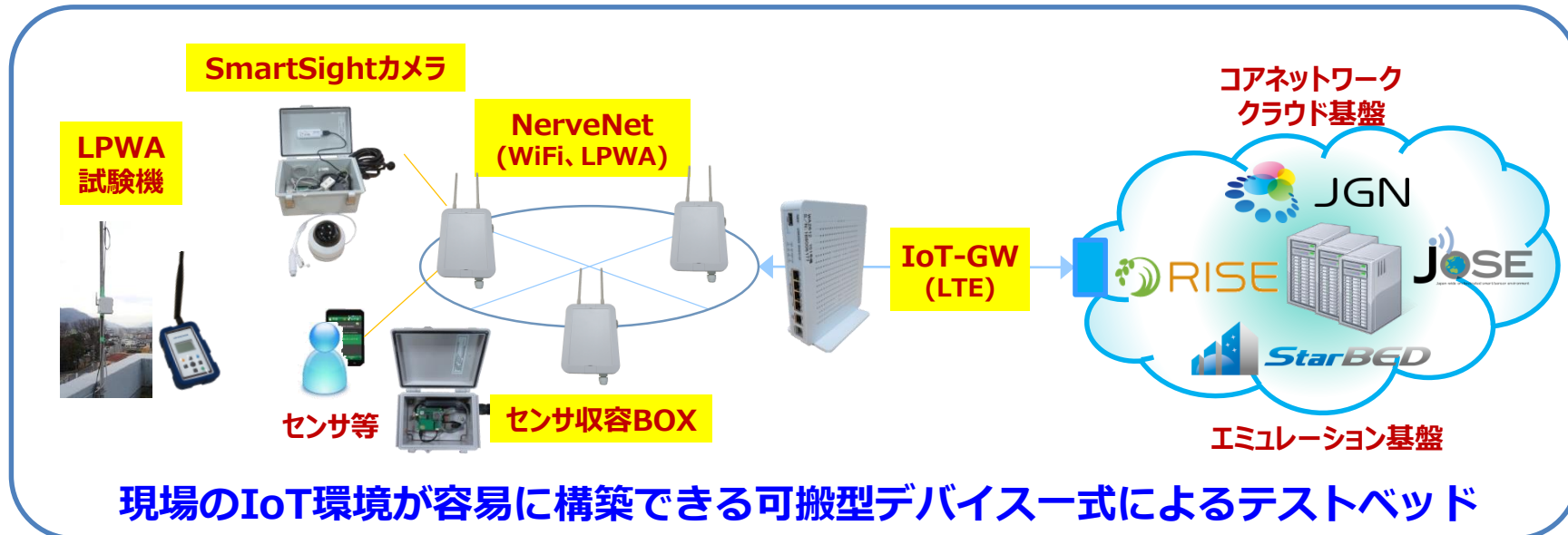
◆ JGNでのご利用（接続）形態



JGNのアクセスポイント（AP）がない地域においてもJGNのAPと他のネットワークに接続している場合（例:学術ネットワーク=JGNと接続性あり）他のネットワーク経由でのJGNへの接続が可能となりますので、テストベッド事務局(tb-info@ml.nict.go.jp)までお問い合わせください。

- IoTのラスト1マイルをサポートする可搬型通信セット
- **可搬型システム一式を準備し、1か所最大3か月のIoTテストベッド環境を構築**
 - JGN・RISE・JOSE・StarBEDとの一体運用はもとより
センサデバイスや通信デバイスなどの組合せも容易となり
価値が見える実証実験を促進

スマートIoT推進フォーラムのテストベッド分科会での検討結果を反映して
2018年度より運用を開始した取組





テストベッドの利用を検討

総合テストベッド
ホームページ閲覧

・問合せメールを送付
(tb-info@ml.nict.go.jp)

1. ご相談者情報
2. お問い合わせ内容 (自由記入)
3. その他 (可能な範囲で記入)

テストベッド事務局から御連絡 & 打合せ

・研究概要資料 (既存作成資料など)

利用の前段階で
試しに使ってみたい方
(テストベッド活用研究会)
※書面の取交し不要

利用申し込みへ

- テストベッド利用申請書
- 研究計画書
- 機関情報



NICT総合テストベッドホームページ
<http://testbed.nict.go.jp/>



NICT総合テストベッド活用研究会
への加入申し込み

テストベッド分科会ホームページ
<http://testbed.nict.go.jp/bunkakai/index.html>

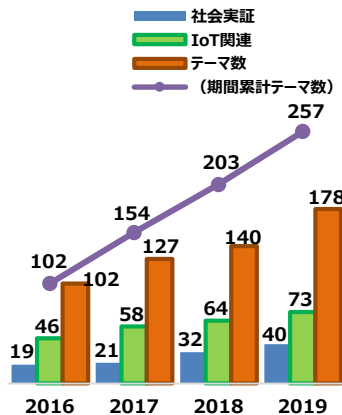
今中期におけるNICT総合テストベッドの利活用状況

- 技術実装と社会実装の一体的推進が可能
な「NICT総合テストベッド」を構築。広報活動
の推進により **着実に利用件数増加**

	2016	2017	2018	2019
◆利用状況				
テストベッド利用件数	102	127	140	178
新規ユーザ	7	10	12	10
社会実証	19	21	32	40
IoT関連	46	58	64	73
複数テストベッド利用	36	46	37	41
国際回線利用	8	13	14	16
利用機関数	251	298	293	341
◆広報活動				
周知活動	95	105	110	48
内外のイベント参加数	10	15	16	19

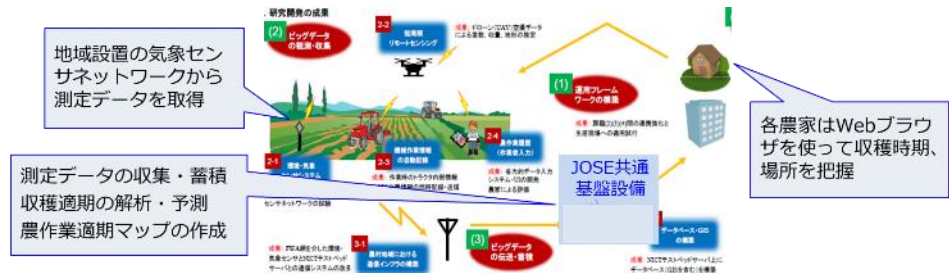
注：テーマ数の分類（青地部分）は重複を含んでいるため、合計はテーマ数にならない。

利用件数の伸び



大規模IoTサービステストベッド(JOSE)を利用した実証実験

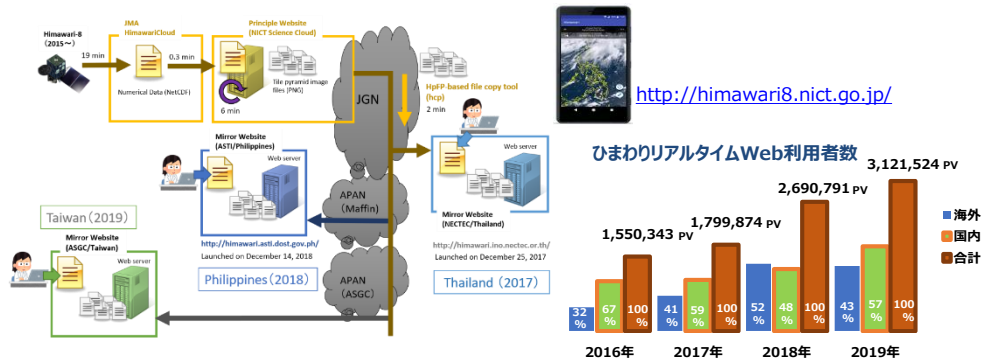
- とうもろこしの収穫時期を見極めるため、地域に設置された気象センサネットワークからの測定データをデータベースに蓄積し、最適な収穫時期を推定・提示する「スイートコーン収穫適期情報システム」を開発
- 現在、利用農家を拡大して農業現場で試験運用中



超高速研究開発ネットワークテストベッド (JGN) の活用事例

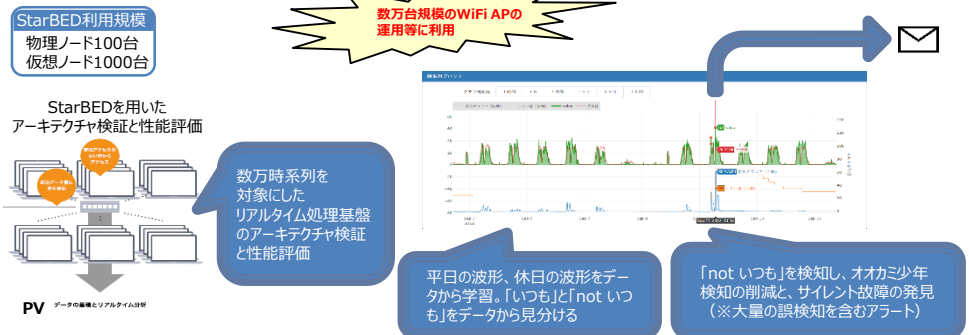
ひまわりリアルタイムWeb東南アジア諸国展開

- 気象庁から転送されたひまわりデータをNICTで加工しリアルタイム可視化
- Webミラーサイトを、タイ (2017年)、フィリピン (2018年)、台湾 (2019年) へ展開、災害対策に
- 2018年海外アクセスが半数を超え、2019年300万ページビュー



大規模エミュレーションテストベッド(StarBED)の活用事例

- 新規開発サービスのアーキテクチャ検証や性能評価にStarBEDを活用。時系列データから周期性などそれまでのふるまいをリアルタイムに学習し、異常・予兆を検知するサービスを開発
- 予兆予測サービスとして商品化済



新たな価値の創出や課題の解決に役立てていただくため NICTの研究開発成果等を紹介しています

産業界や研究機関等向けに52シーズ（再掲9シーズを含む）を掲載。

National Institute of Information and Communications Technology

つな 繫ぐ

みる 観る

つく 創る

産業界・大学・地域の皆様へ

NICT SEEDs

<https://www2.nict.go.jp/oihq/seeds/>

ひら 拓く

新たな価値の創出や課題の解決に
NICTの技術を使ってみませんか

まも 守る

オープン
イノベーション
OI

NICTの研究開発成果やプラットフォームをご紹介します
「NICT SEEDs (NICTシーズ集)」を作成しました。

お問い合わせは
こちらから

オープンイノベーション推進本部
戦略的プログラムオフィス
E-mail: seeds@ml.nict.go.jp

独立研究開発法人
情報通信研究機構
National Institute of Information and
Communications Technology

National Institute of Information and Communications Technology

NICT SEEDs

情報通信研究機構(NICT)は
情報通信分野の研究開発を専門とする
国立研究開発法人です

歌聲人体モデル動画表示

5Gユースケースに対する未技術の位置づけ

言語識別

電波利用の安全に寄与する
人体解剖モデル

低遅延と多数接続を実現する
無線アクセス技術

即座に何語かが判別できる
入力音声の言語識別技術

サイバー攻撃への迅速な対応を目指す
NICTER (インシデント分析センター)

省エネ・安全・安心社会を実現する
酸化ガリウムデバイス

研究開発を支援する
NICT総合テストベッド

サイバーセキュリティ人材育成
の取組

詳細はこちらを
ご覧ください

<https://www2.nict.go.jp/oihq/seeds/>

お問い合わせ先は
オープンイノベーション推進本部
戦略的プログラムオフィス
seeds@ml.nict.go.jp

オープンイノベーション

AIデータテストベッド

AI及びICT分野の研究開発等に利用可能なデータセットを公開しています

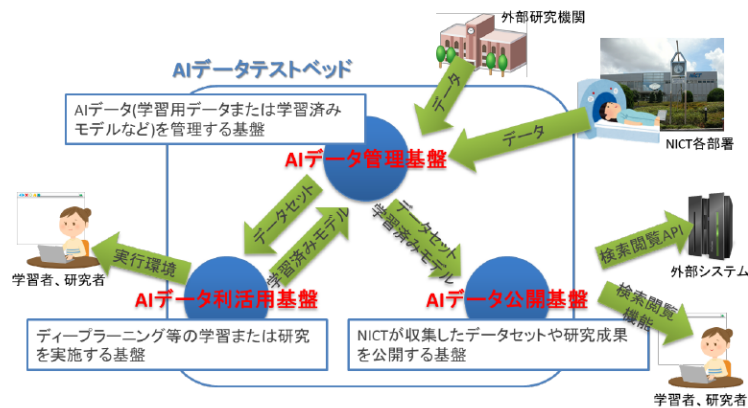
知能科学融合研究開発推進センター 連携研究室 藤井 秀明、岩爪 道昭

キーワード: AIデータ、人工知能、機械学習

概要

オープンイノベーション型のAI研究開発及びその成果を社会実装するため、多様なAI関連データセットを格納・管理・検索及び共有・公開する「AI研究開発環境(AIデータテストベッド)」を提供しています。

AIデータテストベッドWebサイト(<https://ai-data.nict.go.jp/>)でAI研究開発に利用可能な7つのジャンル、44件のデータセットを公開しています。各ジャンルに含まれるデータセットの数や公開対象のジャンルの種類は、今後充実させていく予定です。



AIデータテストベッド 3つの基盤

成果活用の可能性

産学連携によるオープンイノベーション型のAI及びICTの研究開発に、ぜひ公開データセットをご活用ください。具体的な連携方法や用途については、各データセット毎に利用規約を設けており、当該データセットを提供している研究所・センターとご相談いただくことになります。

【関連HP】

AIデータテストベッド <https://ai-data.nict.go.jp/>

サイバーセキュリティ

NICTER(インシデント分析センター)

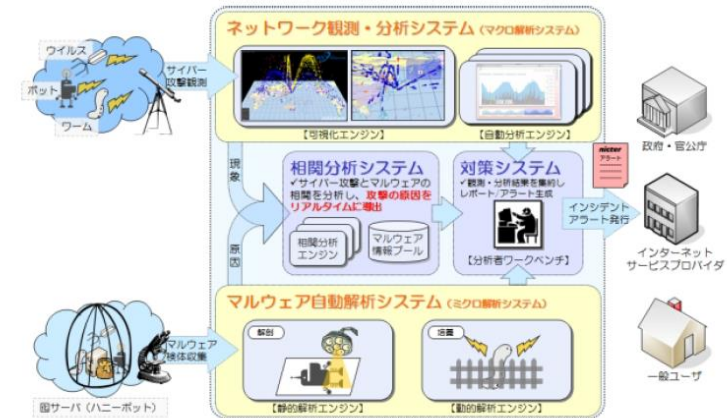
大規模観測により熾烈なサイバー攻撃からシステムを守る情報を提供します

サイバーセキュリティ研究所 サイバーセキュリティ研究室

キーワード: サイバー攻撃、ネットワーク観測、マルウェア解析

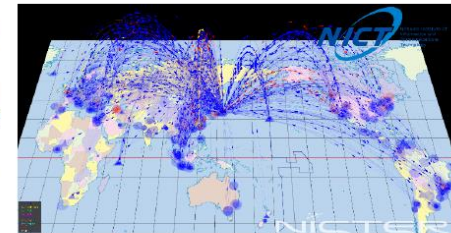
概要

NICTERはインターネットで起こる無差別型攻撃への迅速な対応を目指したサイバー攻撃観測・分析・対策システムです。ネットワーク観測システムと、マルウェアの自動解析システムを融合させ、ネットワークで今まさに起こっている「現象」を俯瞰的に把握し、さらにその「原因」と考えられるマルウェアをリアルタイムに推定します。



成果活用の可能性

NICTERによる観測・分析結果は、セキュリティ関連組織と共有しているほか、その一部は、一般公開していますので活用いただけます。また、関係システムは、情報システム企業に技術移転を行っています。詳細は以下のURLをご覧ください。



NICTER: Network Incident analysis Center for Tactical Emergency Response

【関連HP】

研究紹介 <https://www.nict.go.jp/cyber/research.html>

NICTERWeb <https://www.nictcr.jp/>

NICTER Blog <https://blog.nictcr.jp/>

NICTER観測レポート <https://www.nict.go.jp/cyber/report.html>

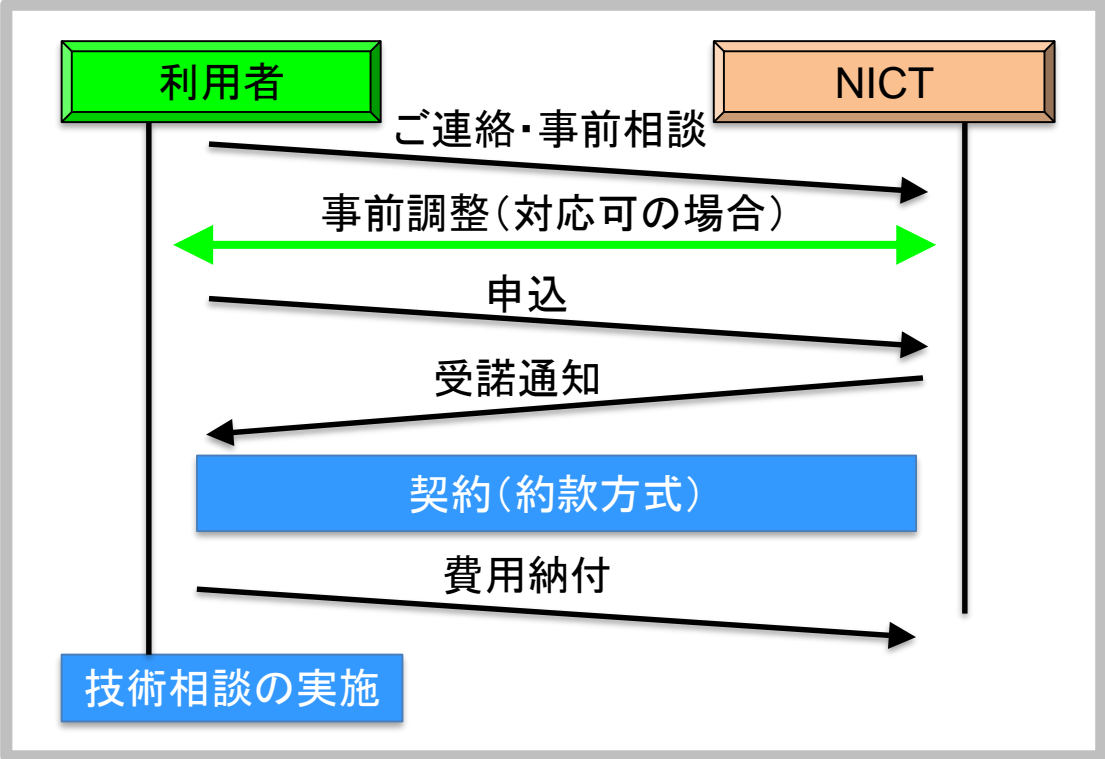
こんなこと、あんなこと、お役に立ちます

NICTでは、日ごろの研究開発で得られた成果や専門的知識を活かした技術相談を実施しています。最新のICT技術を事業に活かしたいときなどにNICTの技術相談をお役立てください。



- 相談内容の例**
- ・ 製品開発の支援
 - ・ 測定方法に関するアドバイス
 - ・ 実験方法に関するアドバイス
 - ・ 実設計に関するアドバイス
 - ・ 情報通信技術の応用に関するアドバイス

お問い合わせ先は
 オープンイノベーション推進本部
 技術相談担当
 oihq@ml.nict.go.jp



<利用手続きフロー>

産学官が連携して災害に強い情報通信実現のための
基礎基盤研究・実証・社会実装を推進

災害時に通信を可能にする
NW技術

基盤領域研究室

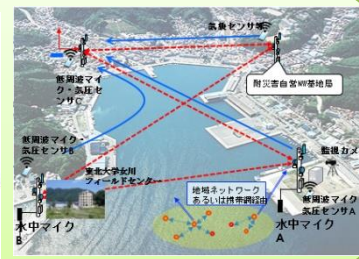
- ・弾力的光スイッチング基盤技術
- ・暫定光ネットワーク構築基盤技術



応用領域研究室

(ワイヤレス通信応用PJ)

- ・限られた資源の下で必要な情報流通を確保するネットワーク技術 (地域分散協調ネットワーク)



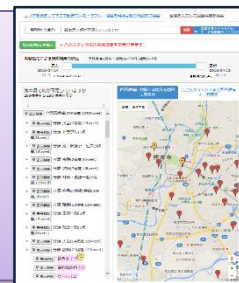
災害時情報分析
提供技術

応用領域研究室

(リアルタイム社会知解析PJ)

- ・インターネット上の災害に関する社会知をリアルタイムに解析・提供

Twitter ⇨



企画連携推進室

- ・成果の最大化 (実証実験、実利用、社会実装推進、展示・訓練参加等)



耐災害技術の社会展開・
利活用・社会貢献

東北地域連携・ICTの
地域利活用

NICTは、平成29（2017）年4月1日に地域連携・産学連携推進室に**東北ICT連携拠点**を設置し、東北地方での地域連携・産学官連携活動を推進しています。

地域の産学官連携活動拠点の強化、自治体との連携強化、東北地方の各県のICT分野の活動情報の収集、東北地域の大学との連携強化の取組みを行っています。

問い合わせ先

情報通信研究機構 地域連携・産学連携推進室
東北ICT連携拠点
resil-info@ml.nict.go.jp

耐災害ICT研究センターWebサイト
<https://www.nict.go.jp/resil/>

